

中等 11 回生、卒業!

2月28日(金)、中等11回生の卒業生が行われました。朝から雲が多い一日でしたが、式が行われる時間は雨も止み、穏やかな雰囲気のもとで111人の11回生が門出を迎えました。卒業式内では、先生や在校生(12回生)、保護者の皆様に見守れながら、齋木校長から一人ずつ卒業証書が授与され、仲間を大切に作る想いを胸に次のステージに飛び立ちました。

11 回生 学年幹事より

■池尻 諒大さん

この度新しく同窓会学年幹事となりました、11回生の池尻です。11回生のみんなを代表して寄稿できることを嬉しく思います。

卒業とともに、私たちはもはや当たり前毎日顔を合わせる仲ではなくなり、それぞれの進路へと歩み出しました。これから自分たちで切り開く新たな環境では、当然自分と気の合う者との多くの出会いがあるでしょう。しかし、入学時に半ば強制的に作り出された11回生という集まりには、反りが合わなかった者もいたはずで

す。たまたま同級生にならなかつたら、関わることなどなかつたらう者もいると思います。でもそれ故に、中等の同級生とは、気の合った大学以降の友人たちとは異なる、かけがえのない存在だと思います。

人生の荒波を乗り越えていくなかで、人間関係や性格が大きく変わる人もいると予想します。それは喜ばしいことでもあり、しかし寂しいことでもあります。でも、10年後も、20年後も、もっと先であっても、同窓会で仲間と再会すれば、昔日のようなひとときを過ごせる。そのような同窓会を作ることができたら、その寂しさも少しは和らぐなあと私は考えます。11回生のみなさん、これからも末永くよろしくお祈りします。

■山田 莉央さん

11回生同窓会幹事になりました、山田です。私たちの学年は勝部先生曰く好きなことをなんでもやりたがる探究心のある学年です。普段は個性が強くまとまりのない11回生ですが、やりたい!という気持ちが集まる行事では、一致団結してみんなが全力で取り組んでいて、世界に82億人もの方がいるのにそんな人達が集まっていることに感動する機会も多々ありました。

私はこの学校に入学して「人との出会い」の素晴らしさを実感しました。同じ6年間を過ごした100人を超える集団であるのに、それぞれが違う個性や才能を持っており、また、自分に無いものを持っています。お互いの不足を充足で支え合って成長してきた私たちは、みんな揃えば怖いもの無しです。そう思える皆さんに出会えたことは私の生涯の自慢です。



(左から) 中垣篤先生、11回生学年幹事の山田莉央さん、池尻諒大さん



うばら読書会から寄贈された特大卒業証書

うばりな性格を活かして頑張ります。

11 回生の皆さん、成長した姿でまた会いましょう！

学年主任の中垣先生より

11 回生の入学式は、満開の桜のもと、雲一つない快晴の中での入学式でしたね。もう 6 年も前のこととは思えないほど鮮明に記憶に残っています。一方で、その時にはまだ元号が平成だったことを考えると、とても昔のことものようにも思えてきます。

この学年は 1 年生の終わりからコロナ禍に突入し、学校生活は一変しました。コロナ前とコロナ後は、社会のさまざまなシステムそのものが変化する時代の変わり目だったようにも感じます。もちろん学校の中も例外ではありませんでした。11 回生はそんな激動の時代の中をこの中等教育学校で過ごしてきたこととなります。2 年生から 4 年生まではマスク生活が基本となり、また 3 年生の沖縄研修が実施できなくなるなど、思い通りにいかないことも多々ある学校生活だったと思います。それでも、11 回生のもつ人の良さ、コミュニケーション能力、そして胸に秘める熱い思いで、消えかけた学校の文化を見事に完全な形で復活させてくれたとともに、KP などを通して新たな文化を築き上げてくれました。とても感謝しています。

十年一昔と言います。皆さんはこの学校の 11 回目の卒業生です。これからはたくさんの卒業生と共に、それぞれのステージで活躍してください。それがこの学校を盛り上げてくれることにもつながると思います。改めまして、ご卒業おめでとうございます。

学校 NEWS 短 信

齋木校長のほか 7 名の先生が離任、 高木(勝)先生が新校長に

2024 年度から校長を務められた齋木先生をはじめ、計 8 名の先生方が中等から離任されました。

齋木前校長は 2014 年度に着任され、2015 年度から副校長として母校の発展、成熟に大きく寄与されました。

その他に森田育志先生(社会科、在職期間 12 年)、山本拓弥先生(理科、同 11 年)、眞田弘

和先生(英語、同 9 年)、勝部尚樹先生(国語、同 3 年)、武藤柚奈先生(保健体育、同 2 年)、渡慶次蓮先生(保健体育、同 1 年)、浦田優花(英語、同 1 年)が離任されました。

新たな校長には、副校長の高木勝久先生が就任されました。

スーパーサイエンスハイスクールに指定される

2020 年度～2024 年度に続き、2025 年度からの 5 年間も文部省からスーパーサイエンスハイスクールの「文理融合基礎枠」に指定されました。

9 回生が成人の日に合わせて同窓会を開催!

成人の日を間近に控えた 1 月 11 日 (土)、ポートピアホテルにて 9 回生の同窓会を開催しました。当日は、全国から 9 回生 105 名と先生方 8 名が集まり、懐かしい再会のひとときを楽しみました。

同窓会では、開会の挨拶に続き、先生方の紹介が行われた後、乾杯で会が和やかにスタートしました。歓談の時間では、近況報告のスライドショーで、それぞれの日常や活躍の様子が紹介されました。続くビンゴ大会では、豪華景品を巡って大いに盛り上がりました。

さらに、在学時の思い出が詰まったスライドショーでは、当時の懐かしい出来事がよみがえり、会場は笑顔に包まれました。

先生方からの温かいメッセージに続き、最後は全員で記念撮影を行い、再会を約束しながら閉会となりました。

参加者からは「久しぶりにみんなと会えて嬉しかった」「次回も楽しみにしている」との声が多く寄せられ、同窓会の成功を実感することができました。ご協力いただいた幹事・先生方、そしてご参加いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

次回もさらに素晴らしい会となることを願っております。(9 回生 出口)



6 回生も同窓会を開催!

2024 年 12 月 29 日 (金)、そして年明けの 2025 年 1 月 4 日 (木)、神戸大学附属中等教育学校 6 回生による同窓会が年末年始の 2 回に分けて開催されました。場所はいずれも神戸市内で、第 1 回は神戸駅近く、第 2 回は三ノ宮で行われ、計 130 名近くが参加しました。

第 1 回は、お世話になった先生の結婚式に合わせて開催したため、温かく特別な雰囲気にも包まれた会になりました。久しぶりに顔を合わせた同級生たちは、在校時の思い出話に花を咲かせながら、互いの近況を報告し合いました。就職した人、進学した人、海外に出た人など、歩む道はさまざまですが、どの話



にもそれぞれの個性がにじみ出ていて、改めて同級生の多様さと魅力を感じる時間となりました。

年始の第2回には、学年担当だった大木谷先生が参加して下さり、参加者一同から大きな歓声と拍手が沸き起こりました。成人式以来となる今回の再会に、懐かしさと新鮮さが入り混じる中、より多くのメンバーが顔を揃え、充実した交流が実現しました。

両日とも夜に行われた同窓会では、時間を忘れるほどの語らいが続き、笑い声の絶えない和やかなひとときとなりました。最後には集合写真を撮影し、再会を誓い合いながら、それぞれの道へと戻っていきました。

今後も隔年での開催を目指し、「また次に会えるのが楽しみ」と思える、そんな温かな同窓会としたいと思います。(6回生 長井)

卒業生だより

マハール 有仁州さん [中等1回生]

はじめまして。あるいはお久しぶりです。中等1回生のマハール有仁州と申します。

附属を去ってからちょうど10年が経ちます。蒼々たる面々が登場するこのコーナーに、私のようなとるにたらない人間が紙幅を割いてしまい恐縮です。思えば中等時代から恥多き人生でした。いつも提出物を出さずに先生に怒られる、悪友たちと部活の後輩の持ち物を物色して親を呼び出される——。挙げ始めるとキリがないのです。

ただ、そんな落ちこぼれにも優しく接してくれた先生方や友人のおかげで今の私がいます。心から感謝申し上げます。卒業後、お目にかかっていない先生方も多いと思いますので、今に至るいきさつをこの場で軽くお伝えできればと思います。

10年前、「グローバルキャリア人」の意味も分からずに附属を卒業した私は、駿台神戸校に入ることになります。そこでも附属出身の友人たちと、意味もなく山を登ったり、ムシキングに興じたりなど、切磋琢磨しているのか足を引っ張り合っているのかよく分からない日々を過ごしました。その後、縁があった早稲田大学法学部に進学しました。

大学でもあまり授業に行かず留年してしまいました。ただ、学生時代に色んな国々を主に一人で巡ったことが後に大きな財産になりました。

日本からイギリスまで海路と陸路で行った旅、中央アジア鉄道紀行、ソマリランド訪問、キリマンジャロ登山など、アジアやアフリカを中心に行脚しました。知らない文化に触れ、美食を食べ、新しい友人が出来る。楽しく、美しい日々でした。

しかし、訪れた場所で出会ったのはお気楽な人ばかりではありません。厳しい現実を強いられている人たちもたくさん目の当たりにしました。

特に忘れられないのが大学3年生で訪れたイスラエルとパレスチナでの経験です。パレスチナの難民



Yunisu Mahar

パキスタン人の父と日本人の母を持つ中等1回生。中等在学中にはオーストラリアでの留学を経験し、現在は新聞記者として活躍中。

キャンプで、ある 8 歳の少女に出会いました。街中には「殉教者」のポスターがたくさんはられています。少女にポスターに写っていた男性について尋ねました。

「これは私のお父さん。10 日前に殺されました」

ピンク色の派手なシャツとくつを身に付け、キックボードに足を置きながら淡々と父が殺された当時の状況を話してくれました。私はそれ以上質問することもできず、ただただ幼い子どもに理不尽を背負わせる状況に言葉が出なかったことを今でも覚えています。

同国のほかにも、イラク北部の難民キャンプで出会ったイスラム国 (IS) 支配下から逃れた難民の子どもたち、独裁国家トルクメニスタンで必死に民主主義の価値を説く高齢男性、エチオピアで農村から都市へ出稼ぎに出て 3 畳ほどの部屋を借りて兄弟で暮らす小学生——。自分ではどうしようもない大きな力を前に、声をあげることも出来ない人々にたくさん出会いました。そんな人たちの声を届けたい、と大学卒業後は新聞記者になりました。

記者になってからはこれまで地方を拠点に活動し、災害被災者や生活保護受給者、犯罪被害者遺族らを取材してきました。これからも、ほんの微力ではありますが、附属卒業生のみなさんと一緒に、この世の中を少しでもよくできるようにできればと思っています。

書くことを生業とする身でありながら、拙い文章を失礼いたしました。国語の成績も本当に悪かったのでご勘弁を。平松先生、あなたの国語の授業をもっと真面目に受けておけばよかったと後悔しています。

卒業生だより

山内 陽月 さん [中等 10 回生]

こんにちは。中等 10 回生卒業生の山内陽月と申します。中等卒業生の皆さま方及び教職員の皆さま方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。このたびは春一番の「陽菊」に寄稿のお誘いをいただき非常に光栄です。

さて、SSH 事業の取り組みもさながら、同時に国際教育も豊かな中等では、様々な活動を通して生徒が世界にふれることのできる環境が整っていました。コロナ禍の影響で各海外研修の実施が叶わなかった世代にはなりますが、中等で得た世界への関心をきっかけに、ご縁あって現在は東京外国語大学言語文化学部スペイン語科で学んでいます。(以下外大と省略いたします)

外大は、東京都府中市に位置する国立大学です。大学の周りには大きな森林公園が広がり、自然を感じられる非常にのどかな立地です。大学の敷地そのものもまるで公園のようなひらけた構造で、空を見上げるだけで世界とつながっているような気がする素敵な学校です。3 つの学部が展開され、それぞれ学びの中心として据えているものが「言語」「地域」「日本と世界」という風に異なっています。前者 2 つの学部生は、外大で学べる約 27 の言語のうちどれを専攻するか決めて受験をします。留学生も非常に多く学内にはもちろん各言語のネイティブの先生がいらっしゃいますから、ただ校舎を歩き回るだけでも、2 つしかない我々の耳にはつねづね四方八方から違う言語が入ってきて大変におもしろい感覚を味わうこ



Hizuki Yamauchi

中等時代は演劇部に所属し、生徒会執行部としても活躍。大学では硬式野球部のマネージャーとして日々奮闘中。

とができます。ただし、留学生に話しかけられた際に即座に英語で返しても相手の日本語がペラペラな場合があるので面食らいます…（笑）

外大で学んでいると、いかに言語学というものが奥深いかということがわかります。音韻、文法、語族、方言、新語、コーパス、プログラミング言語…様々な視点から、外大の研究フィールドは常に言語を「科学する」という作業を行っています。そのうえで統計学の知識や数学で使うような論理的思考は欠かすことができず（もちろん理系科目も開講されています）、リベラルアーツ教育の実践が言語学の現場にははっきりと存在しているように思います。ただ多言語話者になるのとは違う語学学習を享受することができるのが外大です。

中等卒業生の進路を辿っても、外大への進学はなかなか珍しいようです。非常におもしろく学びがいのある学校ですから、いつか中等在學生に直接魅力を伝えられる機会があればと感じています。

皆さまがあたたかで素晴らしい春を迎えられますよう心よりお祈り申し上げます。また私個人としても飛躍の新年度を歩み、微力ながらではありますが中等教育学校同窓会のさらなる発展に貢献させていただくことができれば幸いです。

寄付のお願い

母校の教育活動の支援のため、寄付へのご協力よろしく申し上げます。

附属学校部 HP : <http://www.schools.kobe-u.ac.jp/donations.html>



SNS で情報発信中！

Instagram、Xで同窓会関係の情報を発信しています！フォローお願いします



KUSS_ALUMNUS



@kuss_alumnus

～同窓会からのお知らせ～

■ 今年もホームカミングデイを開催します！：一昨年、昨年に続き、今年も兔原祭の開催日（5月17日（土））にホームカミングデイを開催します。教室を1部屋借りて卒業アルバムなどを展示し、卒業生が集まれるスペースを提供します。是非、卒業生同士でお誘い合わせのうえご参加ください。なお、兔原祭に来場される卒業生の皆さんは、以下のGoogle Formsより来場予約していただくようお願いします。

卒業生用 来場予約フォーム：<https://forms.gle/vd1vVEsnCEfo8Ugn9>



【編集後記】

2月28日に11回生の卒業式に参列した後、直ぐに関西国際空港に移動。大学4回生の時以来6年ぶりのアリゾナへ行って来ました。旅の目的は言わずもがな(?)、メジャーリーグの春季キャンプ(正式にはSpring Training)。至近距離で練習を見ながら、現地の人とキャッチボールをしたり野球談議をしたり、大満足の1週間でした。もちろん、大谷翔平選手も見ましたよ。ちなみに、飛行機代+ホテル代+レンタカー代を合計すると、東京ドームでの開幕戦チケットの転売価格と同じくらい(のはず)でした。でもやっぱり本場で体験してこそ、本当の魅力を体感できるものですね。

今回は特別企図したわけではないのですが、卒業生だよりがグローバル色の濃いお二人からの寄稿になりました。どちらも非常に興味深い内容で、玉稿を広報誌に掲載でき非常に嬉しく思います。

世界に羽ばたく中等卒業生。でもたまには関西にも帰ってきてくださいね。(1回生 小黒)

(次号は2025年6月30日発行予定です)